

令和 7 年度 九州看護福祉大学

授業評価アンケート結果 報告書



九州看護福祉大学
自己点検・自己評価委員会

～目次～

1. 令和7年度授業評価アンケートの概要	1
2. 授業評価アンケート結果	3
3. 授業に関する自己点検・自己評価	4
4. 謝辞	7

1. 令和7年度 授業評価アンケートの概要

1) 実施の目的と方法

令和7年度授業評価アンケートは、自己点検・自己評価委員会が作成し、授業に対する学生の評価、意見を聴取し、その結果を授業内容にフィードバックし、教育方法の改善を図ることを目的として実施された。評価対象科目は、令和7年度の開講科目（卒業・研究論文、実習科目及び履修登録者数が10人未満の科目を除く）とした。

アンケート調査は、表1の7つの分野について行われた。

表1. アンケート調査の7分野

内容
1. あなたの授業態度について
2. 授業内容について
3. 教員の教え方について
4. 教員の姿勢について
5. 総合評価について
6. 担当教員のオリジナル設問
7. 自由記入

アンケート調査は、学務情報処理システム・Campus Square を用いて行われた。調査は、科目責任者が、学生の成績評価には影響しないことを説明したうえで、無記名で実施された。実施時期は、第1学期の前半科目が令和7年5月19日（月）から6月16日（月）、第1学期科目及び後半科目が令和7年7月15日（火）から8月15日（金）までの間、第2学期の前半科目が令和7年10月29日（水）から11月29日（土）、第2学期科目及び後半科目が令和8年1月6日（火）から2月6日（金）までの間であった。

調査票の概要は表2の通りである。

表 2. 調査票の概要

【A. 設問内容】	
1.	この授業の予習・復習の時間は、どれくらいですか。
2.	この授業に興味・関心がもてましたか。
3.	この授業をよく理解できましたか。
4.	この授業は、あなたにとって有益（効果的）でしたか。
5.	この授業は、目標が明確で体系的に行われていましたか。
6.	この授業に集中できる雰囲気が保たれていましたか。
7.	教員の声や言葉は、明確で聞き取りやすかったですか。
8.	教員の教材（教科書、視聴覚教材、配布プリント）の使い方は、適切でしたか。
9.	教員は、質疑応答の機会を適切に作っていましたか。
10.	教員は、授業時間をよく守っていましたか。
11.	教員は、学生の理解度が高まるように工夫して授業を行いましたか。
12.	教員は、私語や途中の入退出に対して適切に対処しましたか。
13.	総合的に判断して、この授業に満足しましたか。
14.	担当教員のオリジナル設問 1
15.	自由記入欄
【B. 回答方法】	
設問 1：①3 時間以上、②2.5 時間、③2 時間、④1 時間、⑤30 分未満、の 5 つの選択肢から一つだけを選択。	
設問 2～14：①全くそう思う、②そう思う、③どちらともいえない、④そう思わない、⑤まったくそう思わない、の 5 つの選択肢から一つだけを選択。	
設問 15：自由記入	

2) 分析方法

各質問項目の選択肢には、表 3 のようなスコアを設定した。

表 3. 選択肢のスコアリング法

設問 2～18	設問 1	スコア
① まったくそう思う	① 3 時間以上	5
② そう思う	② 2.5 時間	4
③ どちらともいえない	③ 2 時間	3
④ そう思わない	④ 1 時間	2
⑤ まったくそう思わない	⑤30 分未満	1

設問 14 は任意の設問のため、全体の集計からは除外した。また、設問 15 は、自由記入で

あり数値としての処理が困難なため、同様に全体の集計からは除外した。

「2. 授業評価アンケート結果」の各表内の数値は、すべて小数点第1位までの平均値で表記した。

2. 授業評価アンケート結果

1) 実施状況

授業評価アンケートの実施状況は、表4の通りである。

表4. 授業評価アンケートの実施状況

学期	実施科目数	実施科目の履修登録者数(人)	回答者数(人)	回答率(回答者数/実施科目の履修登録者数、%)
第1学期	253	10,985	6,215	57%
第2学期	205	8,137	3,537	43%

2) アンケート結果

アンケートの結果は、表5、6の通りである。

表5. 学年別アンケート結果(第1学期分)

設問内容	1年生	2年生	3年生	4年生
1 この授業の予習・復習の時間は、どれくらいですか。	1.7	1.9	2.0	2.2
2 この授業に興味・関心がもてましたか。	4.1	4.1	4.1	4.2
3 この授業をよく理解できましたか。	3.9	4.0	4.1	4.1
4 この授業は、あなたにとって有益(効果的)でしたか。	4.2	4.2	4.3	4.4
5 授業は、目標が明確で体系的に行われていましたか。	4.1	4.2	4.3	4.4
6 この授業に集中できる雰囲気が保たれていましたか。	4.1	4.2	4.2	4.4
7 教員の声や言葉は、明確で聞き取りやすかったですか。	4.2	4.3	4.3	4.5
8 教員の教材の使い方は、適切でしたか。	4.2	4.2	4.2	4.3
9 教員は、質疑応答の機会を適切に作っていましたか。	4.1	4.2	4.2	4.3
10 教員は、授業時間をよく守っていましたか。	4.5	4.4	4.3	4.5
11 授業は理解度が高まるように工夫されていましたか。	4.2	4.2	4.2	4.3
12 教員は、私語などに対して適切に対処しましたか。	4.2	4.2	4.2	4.4
13 総合的に判断して、この授業に満足しましたか。	4.2	4.2	4.3	4.4

表 6. 学年別アンケート結果（第 2 学期分）

	設問内容	1 年 生	2 年 生	3 年 生	4 年 生
1	この授業の予習・復習の時間は、どれくらいですか。	1.9	1.9	2.0	1.4
2	この授業に興味・関心がもてましたか。	4.2	4.2	4.1	4.5
3	この授業をよく理解できましたか。	4.0	4.1	4.0	4.4
4	この授業は、あなたにとって有益（効果的）でしたか。	4.4	4.3	4.3	4.5
5	授業は、目標が明確で体系的に行われていましたか。	4.3	4.3	4.3	4.5
6	この授業に集中できる雰囲気は保たれていましたか。	4.3	4.4	4.3	4.5
7	教員の声や言葉は、明確で聞き取りやすかったですか。	4.4	4.4	4.4	4.7
8	教員の教材の使い方は、適切でしたか。	4.3	4.3	4.4	4.6
9	教員は、質疑応答の機会を適切に作っていましたか。	4.3	4.3	4.3	4.5
10	教員は、授業時間をよく守っていましたか。	4.5	4.5	4.5	4.7
11	授業は理解度が高まるように工夫されていましたか。	4.3	4.3	4.3	4.7
12	教員は、私語などに対して適切に対処しましたか。	4.3	4.3	4.3	4.4
13	総合的に判断して、この授業に満足しましたか。	4.3	4.3	4.3	4.6

3. 授業に関する自己点検・自己評価

1) 「授業に関する個人報告書」について

科目責任者は、授業評価アンケートの結果に基づき、授業科目ごとに「授業に関する個人報告書」（以下、「個人報告書」）を作成して、所定の期日までに教務課に提出し、同報告書は教務課で一括して保管されている。

科目責任者は、この「個人報告書」に基づいて授業改善の方策を立案し、それぞれ改善策を講じている。「個人報告書」の概要は表 7 の通りで、分量は A4 版で数ページである。

表 7. 「授業に関する個人報告書」の概要

令和 年度 第 学期 授業に関する個人報告書
A. 概要
1. 報告者氏名
2. 授業評価実施日
3. 科 目 名
4. 科 目 責 任 者 名
5. オムニバス担当者名
6. 時間割所属学科

7. 履 修 者 数
B. 自己点検・自己評価（400 字以内）
C. 改善課題（200 字以内）
D. 改善計画（200 字以内）

2)「個人報告書」の提出状況について

「個人報告書」の提出状況は、表 8、9 の通りである。なお、各学科における対象科目数とは、当該学科において開講されている科目（評価対象外科目を除く）を指す。

表 8.「個人報告書」の提出状況（第 1 学期分）

学科	対象科目数	提出科目数	提出率(%)
看護学科科目	53	39	74%
社会福祉学科科目	51	27	53%
リハビリテーション学科科目	31	20	64%
鍼灸スポーツ学科科目	41	33	80%
口腔保健学科科目	43	25	58%
学部全体	219	144	66%

表 9.「個人報告書」の提出状況（第 2 学期分）

学科	対象科目数	提出科目数	提出率(%)
看護学科科目	41	28	68%
社会福祉学科科目	47	28	60%
リハビリテーション学科科目	25	22	88%
鍼灸スポーツ学科科目	31	22	71%
口腔保健学科科目	27	17	63%
学部全体	171	117	68%

3)「個人報告書」の抜粋

令和 7 年度の個人報告書には次のような記載があった（表 10、11）。

表 10.【第 1 学期個人報告書からの抜粋】

1	授業のねらい（観察→所見→解釈→看護判断の一連の思考と手技の統合）と一致するコメントを得られた。一方で、理解度は相対的にやや低く（3.9）、本授業は手技と臨床判断を要する科目であるため、教科書読解・疑問の明確化・自己での調べ学習といった基礎知識の事前学修を重視して設計した。
2	興味・関心の平均点 4.0、授業の理解の平均点 3.9、授業の効果・有益性の平均点 4.4、授業目標

	が明確で体系的であるかとの設問の平均点 4.0 であった。演習の中で事例を取り上げたが、学生自身が講義科目とリンクできていない面があると考え。授業の理解については、平均点 4.0 とやや低くなったが、ほとんどの履修者は実習経験がなく、事例を通して情報収集や支援方針をすることの難しさがあったと考える。
3	アンケート結果から、授業の予習や復習にあてる時間が少ない学生の割合が前年よりも増加したことが明らかとなった。授業理解の促進、授業で新たに得た知識の定着の観点から、引き続き予習および復習といった自己学習時間の延長を促す必要がある。
4	講義の対象が入学して間もない 1 年生ということもあり、講義は、ビジュアル的な画像などを用いてプレゼンテーションを行い、学生の興味を高めるよう授業展開を試みた。パワーポイントによる説明に加え、副教材として別刷りの資料を用いて講義を行った。また、毎回講義の内容をまとめる資料を作成し、評価を行った。また、講義の中で問題演習などを行い、国家試験対策も更に充実させた。
5	学習は積み重ねであり、授業を理解するためにも、日常的な自己学習の必要性を学生に指導する。高評価を得ている教材の準備と使用については、配布資料の充実、視覚資料等の充実および利用に取り組む。今後も十分な準備のうえで講義に臨む。講義中は明瞭なゆっくりとした発声を心がける。未定着の専門用語や知識により理解に悩んでいる一面もあるので、一般的用語等でも説明し、理解を助けることで、学習意欲の喚起・維持に努める。
6	人数が前年度より多かったので個別に講義の進み具合はあっているかどうか確認しやすいところを感じました。反面少人数で各自への対応がもっと工夫する必要があると感じました。発表の形式について今後の課題になります。

表 11. 【第 2 学期個人報告書からの抜粋】

1	1 学期に引続き、授業前日までに授業資料を掲示し、授業後にも練習問題の解説を加えて授業資料を掲示した。資料の量が多すぎると言う声もあるが、授業を理解しやすくなり、予習復習に活用できたという声も多かった。内容に関して、毎年ブラッシュアップしていき、より分かりやすい授業にしていきたい。
2	おおむね学習者による受講後の満足を満たしていることを確認できた。やはり国家試験対策を念頭に置いた授業構成が求められていることを、あらためて理解した。自宅学習の時間が少ないことがやや気になった。学修者が説明を聞く時間があまり多くなりすぎないように配慮する必要を、再度確認した。
3	過去の国家試験問題を基に資料作成、解説を行った。授業で学習した内容を想起することを意図して授業で解説した資料も挿入し、国家試験問題に関する知識の再学習と解説内容の理解を促した。過去 5 年間で出題頻度の多い内容について、重点的に説明し、知識確認の機会を与えた。
4	授業の予習復習時間が平均 2.8 点とあり、これは主に事後学習課題によって増えていると考えられる。自由記述欄にもレポートを通して理解が深まったとあり、授業の事後学習レポートに対す

	る評価を行うことによって学習効果がある程度あったと思われる。また、ノートを書く習慣が無い学生が多くいると考えられ、ノートに対しても提出物として評価することにした。結果としてほぼすべての学生がノートを提出した。自由記述欄にもノートを取ることで理解が深まったという感想が散見されており良い効果があったと考えられる。
5	毎回の講義では、教科書を使用しない補償策として講義資料を必ず配付しており、次回講義における確認テストにより学修状況の評価を行う形式で実施した。全項目で約8割以上の学生が肯定的評価を行っており、総合的な授業満足度も平均点が4.2点という高得点を得ていた。これは、講義に対する意見でも、概ね授業が楽しく受講できた旨のコメントが多いこともこれらを裏付けているものと推察され、講義の全ての構成要素に関する総合的な質が一定程度確保された講義を提供できていることを示すものである。

4. 謝辞

令和7年度第1学期、第2学期の授業評価アンケート実施において、ご協力いただいた本学学生の皆様に深謝申し上げます。

令和 7 年度 九州看護福祉大学授業評価アンケート結果報告書

発行日：令和 8 年 6 月 23 日

発行者：九州看護福祉大学 自己点検・自己評価委員会

〒865-0062 熊本県玉名市富尾 888 番地

TEL：0968-75-1800